

なつ休み

2



ひみつの計画けいかく

豊田 小渡小・2

やまおか ゆうな

これはわたしのひみつの計画けいかく
だれにもばれたくない
ひみつの計画けいかく

二年生にねんせいになってはじめてのプール
ぴかぴかのゴーグルをつけて
じゅんぴばたん

今日は体たいいくでぶくぶくばつ
なあんたそんなのかんたんだ
水みづに顔かおをつけてぶくぶくすれば
いいんでしょ

せえの
あれ
ぜんぜんできない
みんなとってもかんたんそう
だからできると思おもったのに

ちよつとでも顔かおをつけてみよう
先生せんせいが言いってきた
ぜったいいやだ
にげちゃおう

だってゴーグルに水みづが入はいるし
はながつうんとするんだもん
おまけにのどもえへんえへん
でもこのままでいいのかな
すいすいおよげたら楽しいかな
ちよつとれんしゅうしようかな
ここからわたしのひみつの
とっくんがはじまった

まずは計画けいかくを立てよう
場ばしょはおふろ
目めひようは はなまでもぐる
これはかんぺき

でも一つこまったことがある
ママに見みられちゃう
これはひみつの計画けいかくだから
ばれないようにしなくっちゃ
ママがおふろから出でたのを
ちらつとかくにんして

とっくんかいし
まずは口くちまで
よゆうよゆう

つぎははなまで
やつぱりこわい
でも思おもい切きってぎぶんつ
やつとできたぞ
大きな声こえで言いいそうなのを



がまんがまん

いよいよ体たいいくの時間じかん
今日きょうこそやるぞ

ぶくぶくぶくぶく

ぱっ

みんながわたしを見みてびっくり

ひみつの計画けいかくは大だいせいこう

文詩集『みかわの子』第62号より

おうちのかたへ

子供たちが、待ちに待った夏休みに
なりました。

長期の休みでなければ手がけること
のできない継続観察などの貴重な体験
は、おうちの方々の適切な助言や心づ
かいによって、いっそう効果を高める
ことができます。

無理のない計画を立て、夏休みの過
ごし方を親子で一緒に考えてください。

表紙の絵は、令和六年度「みかわ
彩発見絵画コンクール（春・夏の部）」
最優秀賞岡崎市立井田小学校二年
天野禾梨さんの作品『キラキラトカ
ゲミーけ!!』です。

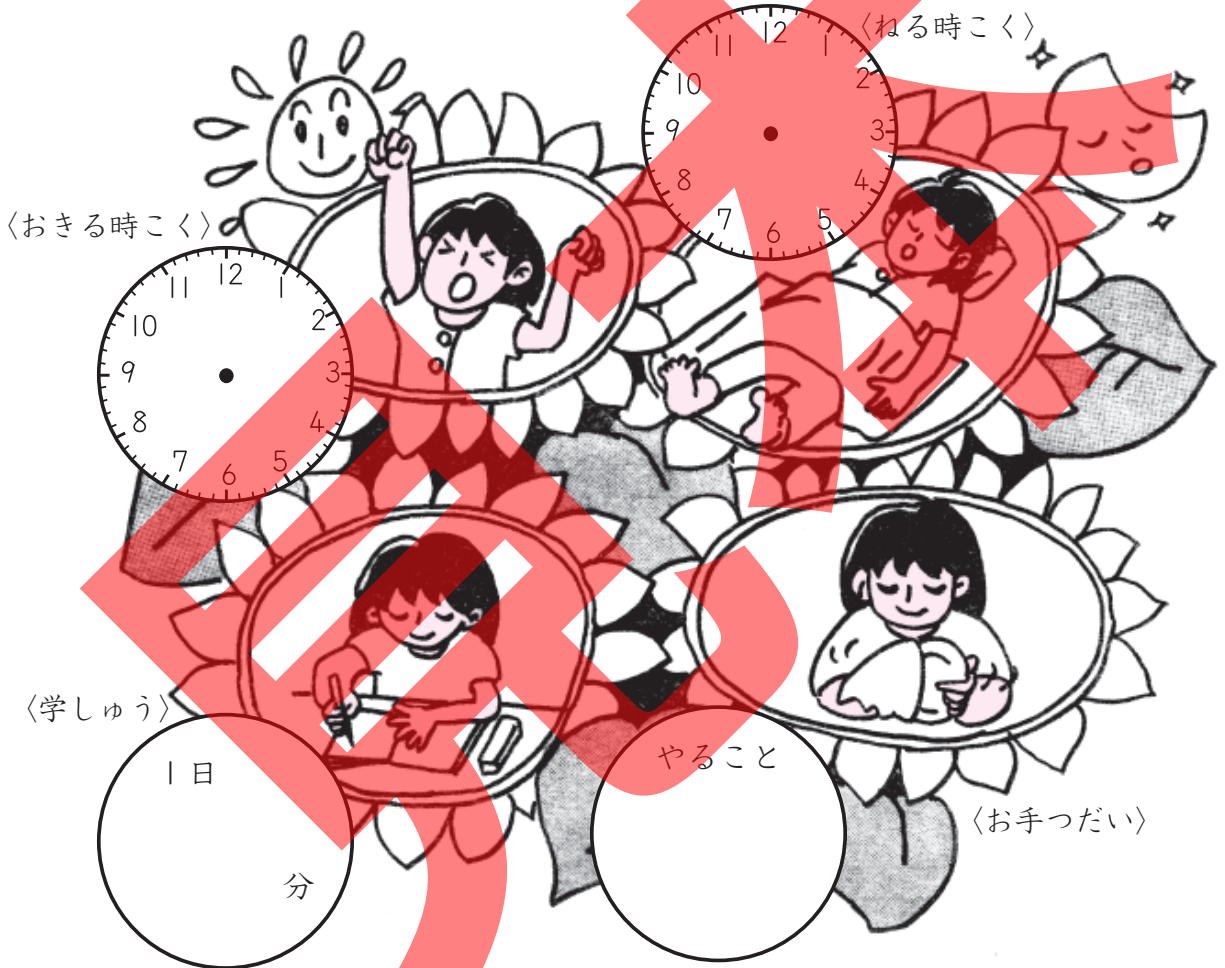
月 日 よう日

たの

楽しい なつ休み

いよいよ きょうから なつ休みです。楽しい なつ休みにするために、きそく正しい 生活を しましょう。

★ あなたの 一日の 生活を とけいに 書き入れましょう。



★ なつ休みに がんばりたい めあてを 書きましょう。

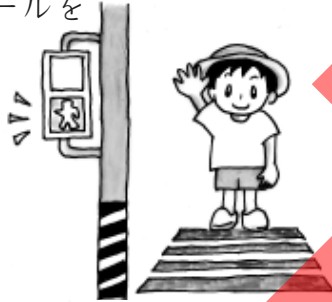
《学しゅう》

《生活》

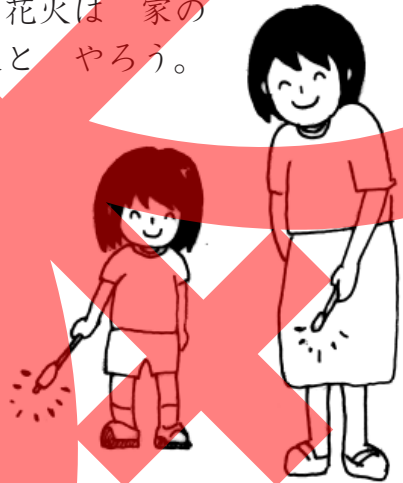
なつ休みの生かつ

※読んだら □に ○を つけましょう。

☐ こうつうルールを
まもろう。

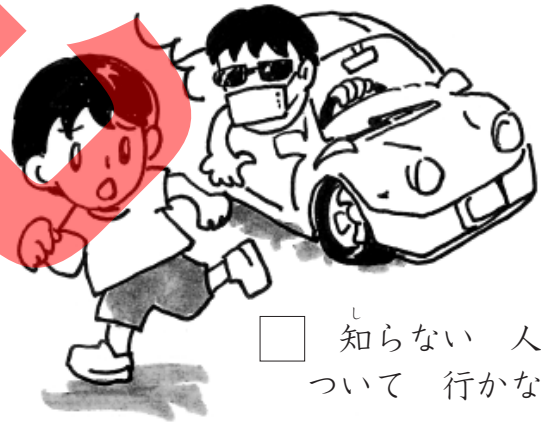


☐ 花火は 家の
人と やろう。



☐ ゲームは 時間を
きめて やろう。

☐ 食べすぎ
のみすぎに
気を つけ
よう。



☐ 知らない 人に
ついて 行かない。



休み中に びょう気や けがを すると、
たの 楽しく ありませんね。上の ことに
気を つけ、たの 楽しい なつ休みに しま
しょう。



かん字の読みよう

よう日

一

おくりがなに

気をつけて、
れいの

ように

かん字に
なおしましょう。

（れい）

よむ

……

読む

日

月

(1)

あたる

……

(2)

わかる

……

(3)

かんがえる

……

(4)

すくない

……

二 かん字の読みを書きましょう。

(1)

人間

(3)

点線

(5)

学校

(7)

小川

(9)

大人

(11)

教科書

(2)

画面数

(4)

外国

(6)

正門

(8)

一日中

(10)

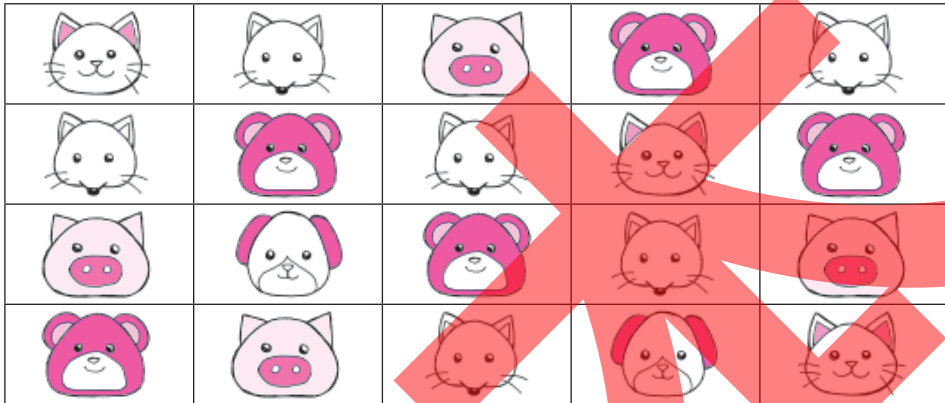
女子

(12)

空気

どうぶつしらべ

どうぶつの 数を しらべました。



1 どうぶつの 数を ひょうに かきましょう。

どうぶつの 数

どうぶつ の 名前	ねこ	ぶた	いぬ	きつね	くま
数(ひき)					

どうぶつの 数

2 右の グラフの マス目に

● を かき入れましょう。

3 いちばん 多かった どうぶ

つは どれですか。

ね	ぶ	い	き	く
こ	た	ぬ	つ	ま
			ね	

ことばさがし

<さがしかた>

- 下の ことばが ひょうの 中に かくれて います。
- たて, よこ, ななめに, まっすぐ ならんで います。
- 下から 上に 読んだり, 右から 左に 読んだり する 場あいも あります。
- 同じ 字を つかう ことも あります。
- かくれて いる ことばを すきな 色で ぬりましょう。
- つかわなかった 字を ならべかえると また ことばが できます。

<かくれて いる ことば>

アゲハ アリ カマキリ カナブン
カブト ハチ コオロギ トンボ



ア	ト	ブ	カ	デ
ゲ	カ	ン	コ	リ
ハ	チ	オ	ボ	キ
ム	ロ	ア	リ	マ
ギ	ン	ブ	ナ	カ



つかわなかった 字を ならべかえて できる ことば

()



1 ゆうくんは こうえんに 出かけました。とけいを 見て
つぎの もんだいに こたえましょう。

(家を 出た 時こく) (こうえんに ついた 時こく) (家に ついた 時こく)



- (1) 家を 出た 時こく ()
- (2) こうえんに ついた 時こく ()
- (3) 家を 出てから こうえんに つくまでの 時間 ()
- (4) 家に ついた 時こく ()
- (5) 家に ついた 時こくの 30^{ふん} 分 あとの 時こく ()

2 に あてはまる 数を かきましょう。

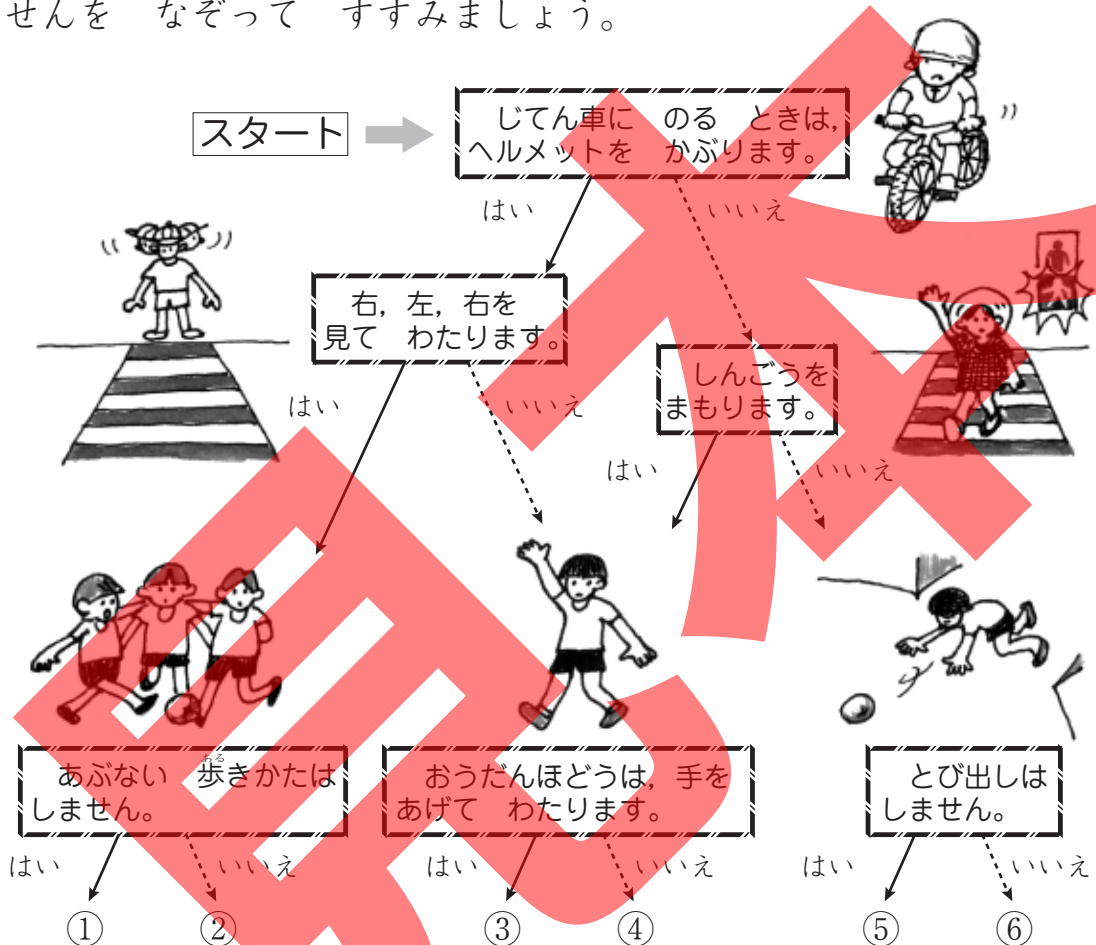
(1) 1時間は 分です。

(2) 1日は 時間です。

(3) 午前^{ごぜん}は 時間, 午後^{ごご}は 時間です。

きみはだいじょうぶ？

スタートから はじめて、「はい」「いいえ」の やじるして
せんを なぞって すすみましょう。



①	すばらしい！ いつも この ちょうしで こうつうルールを まもろうね。
②	こうつうルールを まもって いるね。でも、車は こわいので ゆだんを しないでね。
③	だいたい いいね。じぶんの 目で 車が こないか たしかめてね。
④	歩いて いる ときも ゆだんを しない。どうろを わたる ときは とくに ちゅうい。
⑤	しんごうは かならず まもろう。青しんごうでも 気をつけて わたろう。
⑥	しんぱいだね。気を つけないと 車と ぶつかっちゃうぞ。

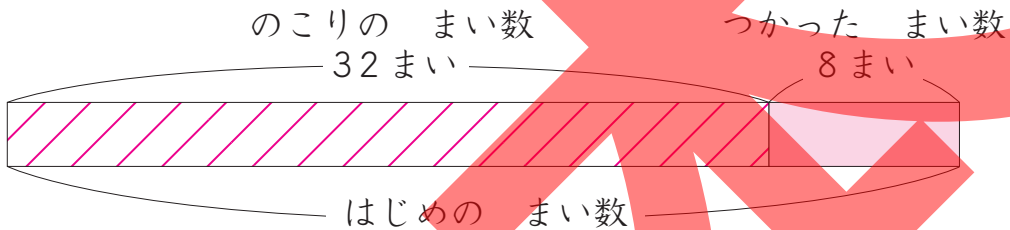
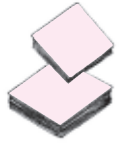


+
?
-

たし算かな ひき算かな

+
?
-

- 1 色がみを 何まいか もって いました。そのうち 8まい つかったので のこりは 32まいに なりました。
はじめは 何まい あったでしょう。



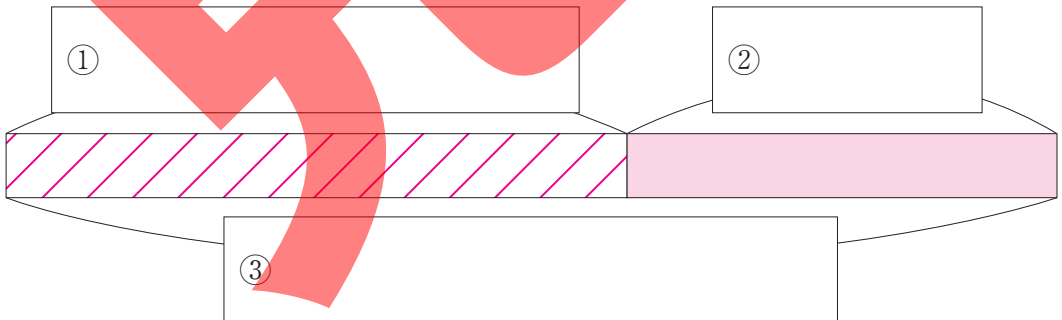
(しき)

こたえ

- 2 こうえんで、子どもが 13人 あそんで いました。そこへ 友だちが 来たので、 みんなで 22人に なりました。
あとから 何人 来たでしょう。



- (1) 図に かいて 考えましょう。



- (2) 図から しきを たて こたえを もとめましょう。

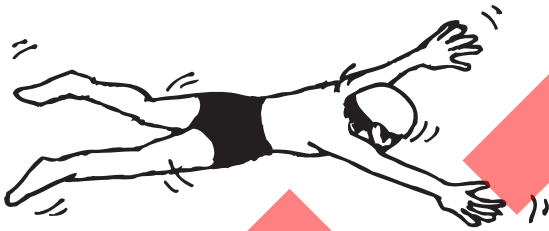
(しき)

こたえ

できるかな

プールで、下の えの ような 水あそびを してみましょう。
できたら、に すきな 色を ぬりましょう。

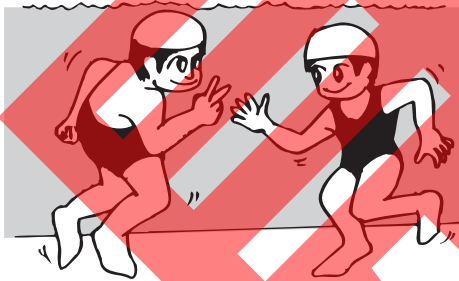
 大の字うき



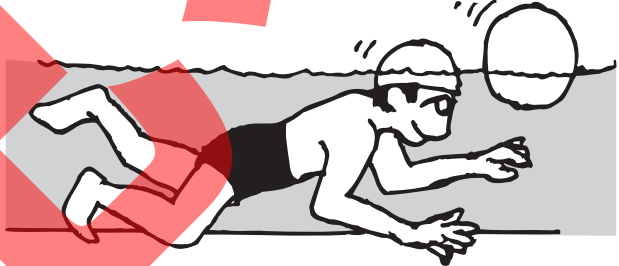
 だるまうき



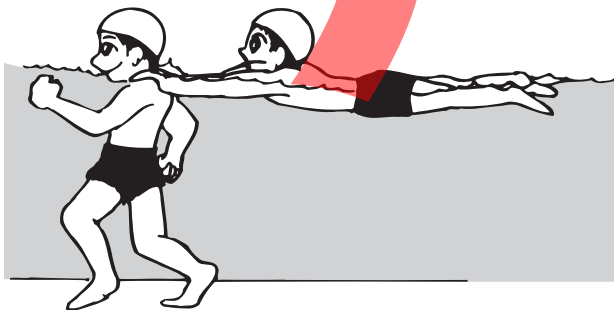
 水中じゃんけん



 水中ボールはこび
(おでこで ボールを はこぶ)



 水中きかん車



 水中トンネル





よう日

日

月

長い なつ休みは、本を 読む よい き
かいです。読書は、心の えいようと 言わ
れます。みなさんの からだが、たくさん
食べる ことで 大きく なるように、たく
さん 本を 読めば、それだけ 心が ゆた
かになるからです。

学校の 図書室^{としよしつ}や ちかくの 図書^{としよ}かんに
出かけて、じぶんが 気に 入った 本を
かりて、読んで みましよう。気に 入った
本が 見つからない ときは、友だちや お
にいさん おねえさんに 聞いて みるのも
よいですね。

☆ 二年生に おすすめの本

○「ごめんね でてこい」(文研出版)
ささき みお 作・え

○「おとうさん・パパ・おとうちゃん」(鈴木出版)
みやにし たつや 作・え

○「きかんしゃ やえもん」(岩波書店)
あがわ ひろゆき 文

おかべ ふゆひこ え

○「おつきよちゃんと かつぱ」(福音館書店)
はせがわ せつこ 文
ふりや なな え

月 日 よう日

わたしのすめる本

☆ 心に のこって いる ところを えと 文で かきましょう。
(りゆうも かきましょう。)

本の名前



月 日 よう日

かたかなでからう

一 つぎの ひらがなを かたかなに なおして 書きましょう。

(1) ぼ お る (2) り ゆ つ く さ つ く

(3) ち ゆ う り つ ぶ (4) え じ そ ん

(5) て え ぶ る (6) ほ っ と け え き



ことばのきまり P10
「かたかなで書くことば」
チャレンジしてみよう。



二 () の ことばを たくさん あつめ
て、 □ の 中 に かたかなで 書きましょ
う。

(1) (どうぶつの 鳴き声)



(2) (ものの 音)



(3) (外国からきたことば)



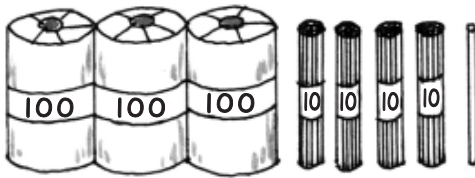
(4) (外国の 国名・地名)



100をこえる数 (1)

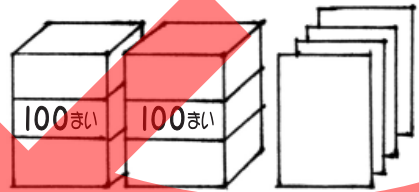
1 ぜんぶで いくつでしょう。

(1)



本

(2)



まい

2 つぎの 数を かきましょう。

(1) 10を 38こ あつめた 数。

(2) 999の つぎの 数。

3 に あてはまる 数を かきましょう。

(1) 500-600--800--1000

(2) 975-980--990-995-

(3) 1000--998-997--995

4 2つの 数を くらべて、>か <を つかって しきに かきましょう。

(1) 215 207

(2) 780 782



えを 見て、^{かいわ}会話を つかった お話を
書きましよう。 ^{かいわ}会話は、かぎ（「」）を

つけて、^{ぎょう}行を かえて 書きましよう。

〈れい〉



だれが
言ったか
分かるように
書きましよう。

○日よう日に、ひるごはんを たべて
いるときに、

「あら、じしんかしら。」

と、おかあさんが 言いました。



ともだち

月 日 よう日

エ ス デ ィ ー ジ ー ズ



SDGs (エス・ディー・ジーズ) という ことばを しっていますか？

SDGs とは

「じぞく かのうな かいはつ 目ひょう」

の ことです。みんなが ずっと 地きゅうで くらし いく
ことが できるように 17この 目ひょうが あります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



つぎの ことを 家で やって みよう。できたら ○に 色を
ぬろう。

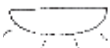
○ のこさず たべよう。



○ 水を 大せつに つかおう。

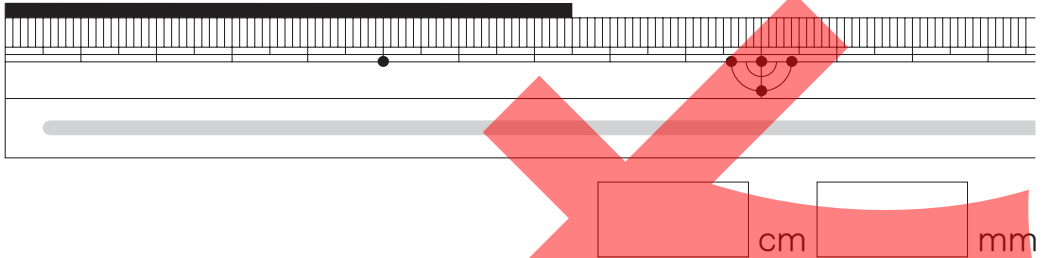


○ つかわない ときは でん気を けそう。





1 下の 線の ^{なが}長さは 何cm何mmですか。



2 つぎの 線の ^{なが}長さを はかりましょう。



3 [] に あてはまる 数を かきましょう。

- (1) $5\text{ cm} = \text{[] mm}$
- (2) $80\text{ mm} = \text{[] cm}$
- (3) $3\text{ cm } 1\text{ mm} = \text{[] mm}$
- (4) $19\text{ mm} = \text{[] cm [] mm}$
- (5) $4\text{ cm } 2\text{ mm} + 2\text{ cm} = \text{[] cm [] mm}$
- (6) $8\text{ cm } 5\text{ mm} - 2\text{ cm} = \text{[] cm [] mm}$
- (7) $4\text{ cm } 3\text{ mm} + 7\text{ mm} = \text{[] cm}$
- (8) $7\text{ cm } 6\text{ mm} - 6\text{ mm} = \text{[] cm}$



やさいの花をしらべよう

ナスには、むらさき色の かわいい 花が さきます。オクラには、黄色の きれいな 花が さきます。

やさいの 花は、その しゅるいに よって かたちや 色がちがいます。

やさいの 花を かんさつ したり、^すかんなどで しらべたりして、かたちを よく 見て かいで みましょう。かけたら色も ぬりましょう。

(ナ ス)	()
	
()	()

計算しましゅう

1 くり上がり，くり下がりに 気をつけて 計算しましょう。

(1) $4 + 7$

(2) $9 + 4$

(3) $8 + 2$

(4) $12 - 7$

(5) $15 - 9$

(6) $15 - 6$

(7) $5 + 6 + 3$

(8) $10 - 8 - 1$

(9) $10 - 3 + 6$

2 くらいに 気をつけて 計算しましょう。

(1) $45 + 5$

(2) $73 + 20$

(3) $60 + 80$

(4) $700 + 300$

(5) $69 - 8$

(6) $82 - 70$

(7) $120 - 50$

(8) $900 - 400$

てんぐにかしたうで

※¹ふたがわ
二川の 大岩寺に、たいそう 字の うま
い おしようにさんが いた。
「よめに いった おすめに、手紙を 書いて
てくださらんか。」

「ああ、いいとも。」

日 「せがれに 字を おしえてくだされ。」

「ああ、いいとも。」

月 たのまれると ことわれない。なんでも
引きうける。だから、お寺には いつも 村
の 人が たずねてくる。

あるばん、ゆめの 中に てんぐが あら
われた。そして、おしようにさんの うでを
ぎゅつと つかんで 言った。

「秋葉の 山から 来た。正月の 間だけ、
字の 上手な おまえの うでを かして
くれ。」

「ああ、いいとも。」

「ついつい、言ってしまった。へんな ゆめ
だと とびおきて、ゆびを うごかしてみた
が、ちゃんと うごく。うでを ぐぐぐと
まげてみた。なんとも ない。」

おしようにさんは ほつと して、また ね
むってしまった。

そして、そのまま わすれてしまった。

正月二日、書きぞめの 日だ。

「明けまして おめでとうございます。」

村の 子どもたちが あつまってきた。

「おう おう。みんな 元気だな。おめでとう。」

さあ、お手本を 書いてあげよう。」

おしようにさんは、ふでを もった。ところが、
いつものように うまく 書けない。正月と
書くとき、※²おとそで よっぱらったような 字
になってしまった。

「こりゃ、いかな。もう 一まい。」

なんまい 書きなおしても、うでが 思う

ように うごかない。

「あつ。」

あの へんな ゆめを 思い出した。

(あの時、てんぐに うでを かしてやるつ

て 言ったんだ。あれは、このことだったの

ようか。)

そう 思うと、からだが、ぞくつと して、

あせが じわつと 出た。おしろうさんは、

少し ふるえる 声で 言った。

「きようは、お手本 なしじゃ。のびのびと

書いて ごらん。」

「うん うん、みんな うまい。わしより

ずっと 上手じゃ。」

子どもたちは、なんだか

へんだと 思ったが、おし

ようさんに ほめられて、

よろこんで 帰っていった。

その夜、ゆめの 中に

てんぐが また あらわれ



た。

「おしろう、うでを かえしに きた。おま

えの うでの おかげで、わしは 書きぞ

めで 一番に なったぞ。」

てんぐは、高い はなを ぴくぴくさせな

がら、赤い顔を ますます 赤くして 言った。

「おれいに、これから ずっと、おまえの

書いたものは まもってやる。」

それから 何十年も たって、村で 大火

事が あつた。

寺も すっかり やけてしまったが、おし

ようさんが 書いた 寺の がくだけは、も

えなかったということだ。

※1 二川の大岩寺：豊橋市大岩町にあるお寺

※2 おとそ：新年にのむお酒

※3 がく：書いたものなどを入れて、かべなどにかけておくもの

(おはなし あいちのでんせつー 『てんぐに かした うで』 愛知県教育振興会より)

読みましたサイン



かん字を書こう

一 つぎの (1) (3) に かんけいのある

ことばを かん字で 書きましょう。

(1) からだに かんけいのある ことば

あたま あし て め

①

②

③

④

(2) 色を あらわす ことば

あお あか しろ き

①

②

③

④

(3) うごきを あらわす ことば

よ き は な

①

②

③

④

二 つぎの ことばを かん字で 書きましょう。

(1)

い え

に

い

く

(2)

つく

る

(3)

こ た

え

(4)

て

を

お

ろす

(5)

ま る

い

し

(6)

ひ か

る

(7)

あ か

る

い

(8)

た か

い

や ま

(9)

お も

う

(10)

よ る

(11)

か ぜ

できるかな？

1 つぎの 計算を しましょう。

(1) $13 + 7$

(2) $49 + 1$

(3) $52 + 8$

(4) $60 - 5$

(5) $20 - 6$

(6) $93 - 80$

(7) $19 + 7$

(8) $36 + 8$

(9) $57 + 30$

(10) $21 - 3$

(11) $84 - 4$

(12) $95 - 6$

(13) $7 + 4 + 6$

(14) $5 - 2 + 8$

2 あめを 17こ もって います。
8こ たべると 何こに なりますか。

(しき)



こたえ

3 赤い あさがおの 花が 13こ、
白い あさがおの 花は 7こ
さいて います。

赤い あさがおの 花の ほうが
白い あさがおの 花より 何こ
多いですか。

(しき)



こたえ

計算ぬり絵

つぎの 計算を して、下の えの こたえの ところを きめ
られた 色で ぬりましょう。正しく ぬると、たべものが うか
び上がって くるよ。

(赤 色)

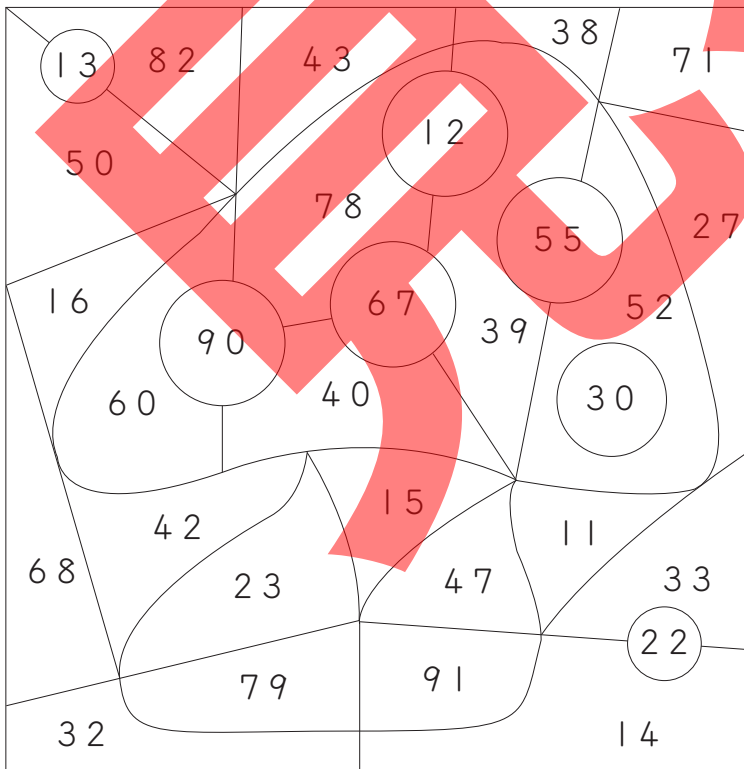
- $56 + 4$
- $33 + 6$
- $72 + 6$
- $57 - 5$
- $43 - 3$

(青 色)

- $23 + 7$
- $84 + 6$
- $20 - 8$
- $70 - 3$
- $60 - 5$

(黄 色)

- $17 + 6$
- $88 + 3$
- $22 - 7$
- $56 - 9$
- $86 - 7$



こたえ

まっ白になつたおじぞうさま

大須^{おおす}の ある おてらに、白い 紙を はられた まっ白い おじぞうさまが おかれてあります。びょう気を なおして もらおうと、紙を はって おまいりするのです。

その むかし、⁽¹⁾ おとこと その むすめが すんで いました。あるとき、むすめのおなかに できものが できました。くすりに なる くさを とってきて、そのしるを ぬつても、ちつとも よく なりません。

それを ⁽²⁾ きいた 和尚^{おしょう}さんは、おじぞうさまに 手を 合せて いっしょうけんめい いのりしました。すると、あるよる、和尚^{おしょう}さんの ゆめにおじぞうさまが あらわれて 言いました。

「むすめの わるい ところに まっ白い 紙を あて、それを わたしの からだに はりなさい。そして、いっしんに いのりなさい。」

和尚^{おしょう}さんは さっそく 二人に つたえました。⁽³⁾ なんにちかして むすめの できものは きえました。

それから、⁽⁴⁾ おおくの 人たちが おまいりするようになり、おじぞうさまは、からだじゅうが まっ白になつてしまったという ことです。

(おはなし あいちのでんせつ 2



『大蛇の おんがえし』

愛知県教育振興会より

一 線(1)〜(4)の ことばを かん字で 書きましょう。おくりがなも 書きましょう。

(1)

(2)

(3)

(4)

二 むすめは どんな びょう気になつたでしょう。

三 和尚^{おしょう}さんの ゆめにあらわれたのは、だれでしょう。

四 おじぞうさまの からだが 白いの、なぜでしょう。

月 日 よう日

生きもの大すき

はたけや のはら，川や いけなどには，いろいろな 生きもの
の が います。これらの 生きものを 見つけて えを かきま
しょう。また，色も ぬりましょう。

※川や いけには，おうちの 人と いっしょに 行きましょう。

※すずしい 時間に 行きましょう。



生きものの 名前

生きものの いた ばしょ

生きものの え



NHK for School
おばけの学校たんけんたん
「かくれた生きものをさがそう」
を見てみよう。



100をこえる数 (2)

1 数字で かきましょう。

(1) 四百七十三

(2) 八百二十

(3) 六百四

()

()

()

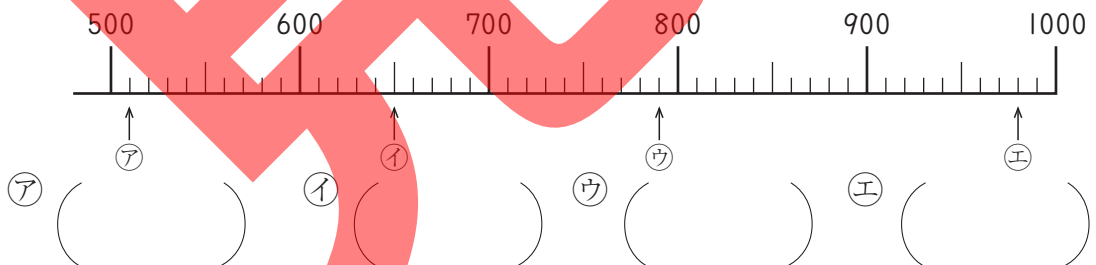
2 □に あてはまる 数を かきましょう。

(1) 257は 100を □に, 10を □に, 1を □にあわせた 数です。

(2) 100を 10こ あつめた 数は □です。

(3) 320は 10を □こ あつめた 数です。

3 ㉖～㉚にあたる 数を かきましょう。



4 あと いくつで 1000に なりますか。

(1) 980

(2) 995

(3) 600

()

()

()

かん字を読みましよう

一 にていゝるところのあるかん字です。

—線の読みを書きましよう。

(1)

聞 間

話を聞く。
休みの間

(2)

教 数

教えてもらう。
ボールの数

(3)

自 白

自分のかお
白い犬。

(4)

読 話

本を読む。
話を聞く。

二 読み方のちがうおなじかん字です。

—線の読みを書きましよう。

(1)

小 小 小

さい おうち
犬が あそぶ。
小学二年生

(2)

正 正

しい 文字
正月

(3)

元 火

気な 子ども
の元

(4)

親 親

しい 人。
親子

かるがらしょう

おかもととしあき
岡本敏明 作詞／ドイツ民謡

The musical score is written on two staves. The first staff is in 4/4 time and contains a melody with notes D, E, F, G, A, B, C, D. The second staff is in 4/4 time and contains a melody with notes D, E, F, G, A, B, C, D. Above the first staff, there are two finger diagrams showing the correct hand position for playing the harmonica. The first diagram shows the left hand with fingers 1, 2, 3, 4, 5. The second diagram shows the right hand with fingers 1, 2, 3, 4, 5. A large red 'X' watermark is overlaid on the entire page.

日本音楽著作権協会（出） 許諾第0605528-520号

- 1 1だん目に あてはまる かしを（ ）に 書いて うたいましょう。
- 2 ドレミで うたいましょう。
- 3 けんばんハーモニカで、下の 3つの ことに 気を つけながら えんそうしましょう。できたら ☐ に ◎をかきましょう。
 - (1) とちゅうで とまらずに さいごまで ひくことができた。 ☐
 - (2) ゆびの いどうが 正しく できた。 ☐
 - (3) 〜の お休み（ ）に 気を つけて ひくことができた。 ☐

月 日 よう日

かん字の書き方

一 つぎの かん字の
画数を
数字で
書
きましよう。

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
組	高	考	外	声
()	()	()	()	()
画	画	画	画	画
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
親	原	黄	書	国
()	()	()	()	()
画	画	画	画	画

二 ふとい 線の ところは 何画目に 書く
でしよう。() に 数字を 書きましよう。

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
上	何	点	毛	友
()	()	()	()	()
画目	画目	画目	画目	画目
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
科	方	当	回	丸
()	()	()	()	()
画目	画目	画目	画目	画目



せ
わ
を
し
て
く
だ
さ
い

みなさんが 家や 学校で せわを している
生きものや くさ花の ようすを えと 文で
かきましよう。 色も ぬりましよう。



ひっ算のおけいこ 1

1 つぎの ひっ算を しましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 53 \\ + 12 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 21 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 2 \\ + 97 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 35 \\ + 52 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (5) \quad 87 \\ - 73 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (6) \quad 38 \\ - 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (7) \quad 95 \\ - 50 \\ \hline \end{array}$$

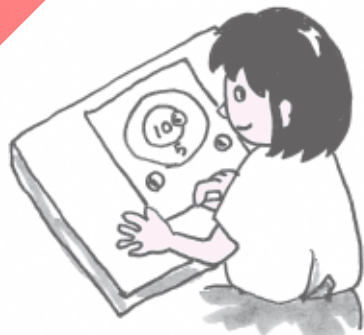
$$\begin{array}{r} (8) \quad 42 \\ - 22 \\ \hline \end{array}$$

2 なつこさんは おはじきゲームで、さいしょに 43点、つぎに 52点 とりました。

あわせて 何点 とったでしょう。

(しき)

ひっ算



こたえ

月 日 よう日

書いてみよう

● 左の 作文^{さくぶん}を 下に 正しく

書きなおしましょう。

わたしは、	いえで	白いね
こを	か	つて
います。		
「こちへ	おいで。」	
と言うと、	うれし	そうによ
ってきます。	だ	く
す	が	つ
いて	いる	ので
なり	ます。	
ん	り	ん
と	な	り
ま	す。	



・書き終^おわったら、おうちの 人に サインを もらいま
しょう。

おうちの人のサイン

--

月 日 よう日

かん字をあらわす



一 むきを あらわす ことばを かん字で

書きましょう。

う え した み ぎ ひ だ り

二 よう日を あらわす かん字を 書きま

しょう。

三 教科を かん字で 書きましょう。

こく ご さん すう

(1)

(2)

おん せい かつ

(3)

(4)

四 □ の 中 の かん字の いちぶを つか

って かん字を 書きましょう。

(5)

(3)

(1)

(6)

(4)

(2)

月 日 よう日

ことばの広場

ひろば

一 (一) にあう ことばを

えらんで 書きましょう。

手ぶくろ くつ ゆかた ぼうし

から

(1) (一) を かぶる。

(2) (一) を きる。

(3) (一) を はく。

(4) (一) を はめる。

二 上の ことばと 下の ことばを 線で

むすびましょう。

(1) ほうちよう ・ ほる

(2) シャベル ・ くむ

(3) かなづち ・ たたく

(4) バケツ ・ きる

三 つぎの 文に あう ことばを、○で かこみましょう。

(1) さかなが { すいすい } およぐ。

{ よちよち }

(2) こまが { くるくる } まわる。

{ そよそよ }

(3) 川の水が { つるつる } とながれる。

{ さらさら }

四 正しい ほうを ○で かこみましょう。

(1) ひよこが { ぴよぴよ } なく。

{ ピヨピヨ }

(2) ほしが { きらきら } ひかっている。

{ キラキラ }

月 日 よう日

えにつきをかこう

なつ休みに 楽しかった ことを 思い
出して かきましよう。

だ い

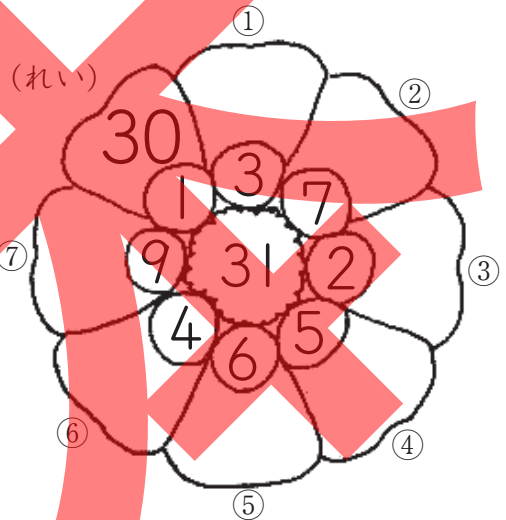
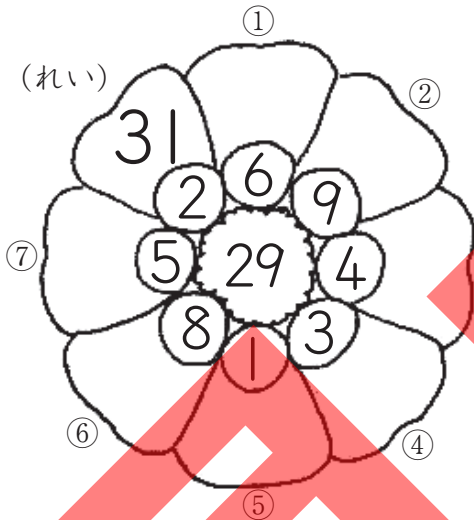
月 日 よう日 天気 ()



数はいくつ

1 つぎの 計算を しましょう。

- (1) まん中の 数に ^{そと}外がわの (2) まん中の 数から ^{そと}外がわの
数を たしましょう。 数を ひきましょう。



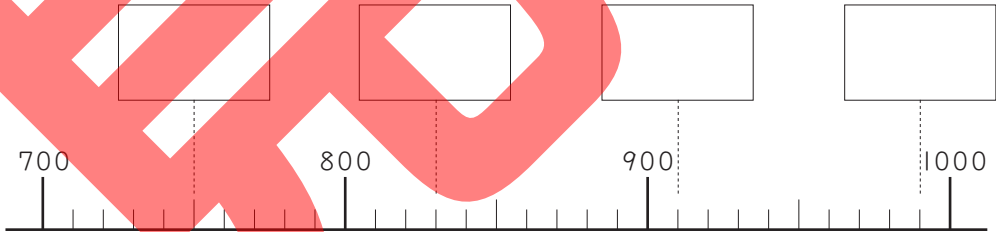
2 に あたる 数は なんでしょう。

(1)

(2)

(3)

(4)



3 つぎの ひっ算で、 で かかれて いる 数字を の
中に かきましょう。

(1)

$$\begin{array}{r} 32 \\ + \text{cloud} 4 \\ \hline 76 \end{array}$$

(2)

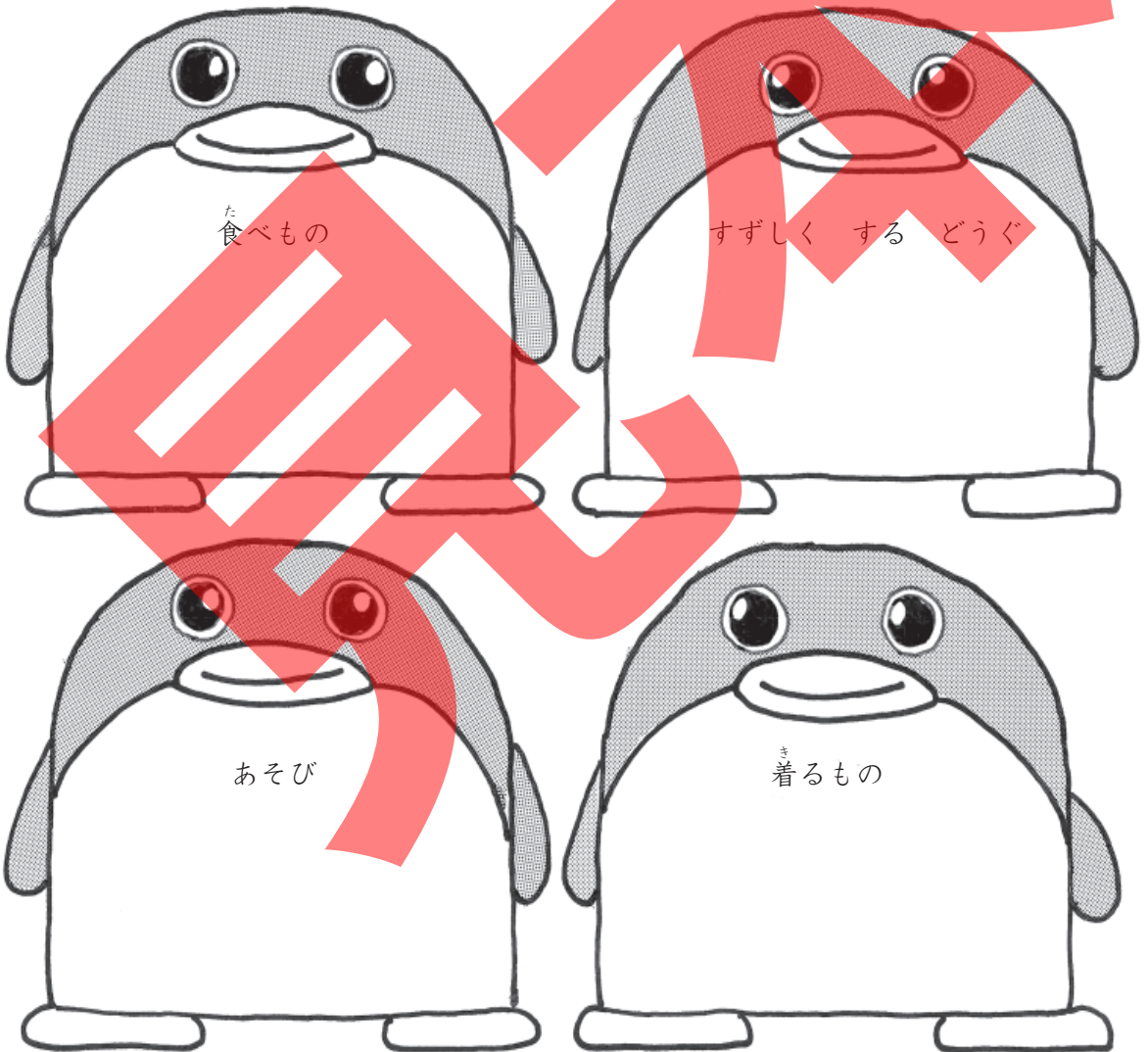
$$\begin{array}{r} 54 \\ + 2 \text{cloud} \\ \hline 80 \end{array}$$

(3)

$$\begin{array}{r} \text{cloud} 3 \\ - 45 \\ \hline 28 \end{array}$$

なつをすずしく

まだまだ あつい 日が つづきますね。あつい なつを す
ごし やすく くらす ために、みなさんの まわりでは どん
なくふうを して いますか。見つけて、ペンギン🐧の 中に
えや ことばで かいて みましょう。





一つぎの えは、すべて がっきです。
 がっきの 名前を かたかなで 書きま
 しょう。









二 えの かき方を せつめい します。()
 の 中 に 入る ことばを の 中 から
 えらび、 に えも かきましよう。

(1) ねこの かおの えを かきます。

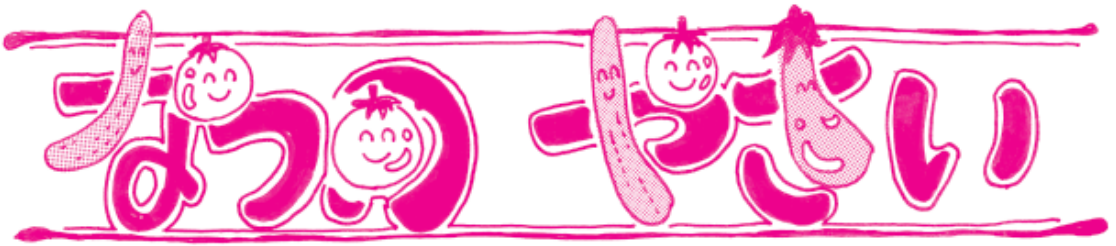
(2) ()、かおの かたちを か
 きます。 大きな 丸を かきます。

(3) ()、はなと ひげを かき
 ます。 丸の まん中に、小さな 三かくを
 下むきに かきます。 三かくの 右と 左
 に 三本の よこの 線を かきます。

(4) ()、目を かきます。 小
 さな 三かくの 上に 黒い 丸を 二つ
 ならべて かきます。 これで、できあがり
 です。

それから さいごに
 はじめに かし
 つぎに また

〈ねこのかお〉



なつには いろいろな やさいが できます。

なつに できる やさいを たべると からだを ひやしたり
からだを 元気に してくれたり します。

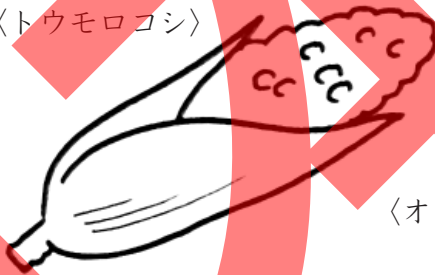
下の やさいは、なつに できる やさいです。

なつ休みに たべた やさいや、そだてた ことの ある や
さいに 色を ぬりましょう。

〈トマト・ミニトマト〉



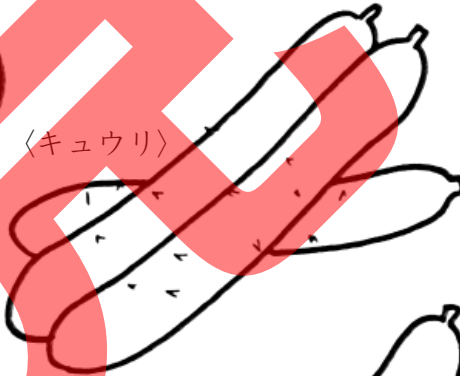
〈トウモロコシ〉



〈オクラ〉



〈キュウリ〉



〈ピーマン〉



〈ナス〉

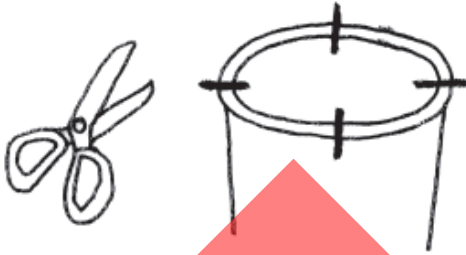


ジャンプガエル

ようい
するもの

紙コップ2こ・画用紙・わゴム2本
はさみ・セロハンテープ・カラーペン・のり

- ① 紙コップの ふちに 4かしょ
小さな きりこみを 入れる。



- ② わゴム 2本を こうさ
する ように きりこみに
かける。



- ③ 画用紙で 目や 耳などの
パーツを 作り 紙コップに
はる。



- ④ もう1この 紙コップにも
えを かいたり パーツを
はったり する。



ひっさんのおけいこ2

1 つぎの ひっ算を しましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 23 \\ + 19 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 47 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$$

(3)
$$\begin{array}{r} 80 \\ - 45 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 65 \\ - 8 \\ \hline \end{array}$$

2 ほのかさんと さつきさん
が なわとびを しました。

(とんだ ^{かい}回数)

ほのか	37回 ^{かい}
さつき	56回 ^{かい}



(1) あわせて ^{かい}何回
とんだでしょう。

(2) どちらが ^{かい}何回
多く とんだでしょう。

(しき)

(しき)

ひっ算

こたえ

^{かい}回

ひっ算

こたえ

さんが

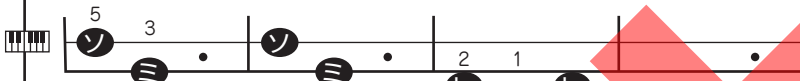
^{かい}回多く とんだ。



かっこう

♩ = 1 | 2 ~ | 2 0

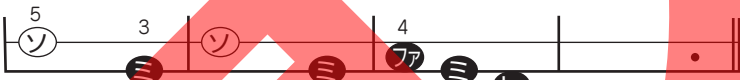
こばやし いち 小林純一 作詞 / ドイツ民謡 / うらたけんじろう 浦田健次郎 編曲



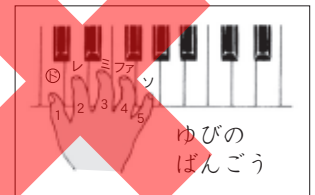
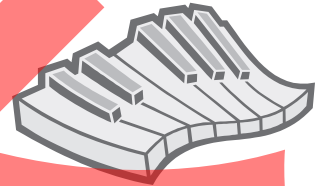
1・2 かっ こう かっ こう し ず か に



{ よ ん で る よ き り の な か
{ な い て る よ も り の な か



ほう ら ほう ら か あ さ ん
ほう ら ほう ら あ さ だ よ



日本音楽著作権協会 (出) 許諾第0605528-520号

- 1 下の リズムを 手で うちながら うたいましょう。じょうずに できる ように なったら、おうちの 人に きいて もらいましょう。

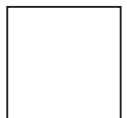


(くりかえす)



(くりかえす)

サイン



- 2 ゆびづかいに 気をつけて、けんばんハーモニカで えんそうして みましょう。

しろ 白い矢

日曜日

むかし むかし、名古屋の東のあたりは、おかがずっとつづく、しずかな村だった。村人は小さな池をつくり、水を大切に

日

ある年、田うえを、もう十日にもなるのに、雨はひとつもふらなかつた。

月

二十日 たつても、だめだった。イネはかれはじめ、イモのなえは黄色くなつた。

村人たちは、前のききんのことを思い出した。食べるもの、いえば、木のねっこしかなかった。

村人たちは、おかのうへにあつまつて、天のかみさまに雨をふらせてほしいと、おいのり

をはじめた。

三十日 たつても、雨はふらなかつた。

とうとう池の水は、からからになつてしまった。

ちようどその時、みやこの竹内宿禰というかたが、大ぜいの家来をつれて、お通りになつた。

「これは気のどくなことじゃ。なんとかしてやりたいが……。そうじゃ、よいものがあ

る。」
と、言つて、一本の白い矢をお出しになつた。

「めずらしい、白いタカの羽根で作つた、大切な矢じゃ。これをさづけよう。この矢を、地めんにつまみすぐ立てて、おいのりすれば、これから水にこまることはないだろう。」

村人は、さっそく 白い 矢を 地めに 立

てて、まわりに あつまり、おいのりを はじめた。

白い 矢が ピクツと うごいた。

矢の まわりの 土が、黒く しめってきた。

みるみるうちに、矢の まわりに、小さい 水た

まりが できた。

「み、み、水だ。水だぞう。」

矢の まわりから、こんこんと 水が わきだ

した。みんなは、かたを たたき合って よろこ

んだ。

月 水は ひとすじの ながれに なって、はたけ

や 田んぼの 方へ すすんでいく。

村人は、ながれに つれて 走りだした。なが

れの 中を 走る ものも いる。ながれの 中

で、はねる ものも いる。

「おうい。おれの はたけに、水が 来たぞ。」

「うちの 田んぼにも、水が 入ったあ。」

「おとう、うれしいなあ。」

「おかあ、ありがたいのう。」

村人たちは おどりだした。おいおい なきな

がら、おどっている ものも いる。

宿禰は これを 見ると、だまって 立ちさら

れた。村人は、おれいを 言うのも わすれていた。

日が、西の 空に しずみかけた。

おかの 上の 白い 矢が、金色に 光ってい

た。

※いききん：米や野菜が十分にとれず、食えることができずに
苦しむこと。

（おはなし あいちのでんせつ2

『大蛇の おんがえし』 愛知県教育振興会より）

読みましたサイン



算数パズル

かかっている しきや 答えが 正しい マスを、すきな 色でぬろう。正しく ぬると、数字が うかび上がって くるよ。

$8\text{ cm} - 2\text{ cm}$ $= 6\text{ mm}$	$231 > 213$	100を 4こ あつめた 数を 四百と いう	$63 - 6 = 57$	$\begin{array}{r} 68 \\ + 14 \\ \hline 72 \end{array}$
$\begin{array}{r} 35 \\ - 8 \\ \hline 17 \end{array}$	10を 36こ あつめた 数は 360	$64 + 27 = 81$	9時15分の 30分前の 時こくは 9時45分	$7\text{ cm } 8\text{ mm} - 2\text{ cm}$ $= 7\text{ cm } 6\text{ mm}$
$92 - 65 = 37$	1時間 = 60分	$30\text{ mm} = 3\text{ cm}$	$45 + 38 = 83$	にっしの よこの 長さは 182cm
はがきの よこの 長さは 10m	$\begin{array}{r} 25 \\ + 67 \\ \hline 82 \end{array}$	$349 > 356$	100を 7こ 10を 2こ 1を 5こ あつめた 数は 725	百十二を 数字で かくと 102
1000は 10を 10こ あつめた 数	7時25分の 1時間あとの 時こくは 8時25分	$100\text{ cm} = 1\text{ m}$	$35 + 19 = 54$	$\begin{array}{r} 60 \\ - 53 \\ \hline 13 \end{array}$

うかび 上がった 数字 ()



がばとむし

カブトムシは、コガネムシのなかまで、日本に※いる。こう虫ちゅうの中では、一ばんからだの大きなしゅるいです。オスには、大きなつのがあり、からだぜんたいは(1)こい茶色ちやで、よろいのようなかたいひふと(2)前羽まへはにつつまれています。

クヌギ林はやしやコナラ林ばやしがカブトムシの生活せいかつの場しよです。なつ(3)のよる、せいちゅうはじゅえきをもとめてとんできます。クヌギやコナラのじゅえきがないと、カブトムシのせいちゅうは、生きていけません。

じゅえきには、なんびきものせいちゅうがあつまるので、ときどき二ひきがじゅえきをとりにあひ、じまんのつのでたたかうことがあります。



※こう虫ちゅう：「よろいをきた虫」といういみです。こう虫のからだは、かたいひふでおおわれていてがんじょうです。

一 (1)と(2)の かん字の 読みを 書きましょう。

(1) 茶 色 ちや (2) 前 羽 ばね

二 カブトムシは、何の虫の なかまでですか。

三 カブトムシは どんな場しよで 生活して いますか。

四 カブトムシの せいちゅうは、じゅえきが ないと どうなりますか。

五 カブトムシの オスは、(3)の とき、何を つかって たたかいますか。

月 日 よう日

★ きそく正しい 生活は できましたか。

よく まもれた

だいたい まもれた

まもれなかった



• 早おき

• 早ね

• 学しゅう

• お手つだい

★ なつ休みの はじめに きめた、生活の
めあてを ふりかえって みましょう。

あすから学校



いよいよ あすから 学校生活が はじま
ります。どきどき わくわくする ことが
たくさん まっています。楽しみですね。
しっかりと がんばりましょう。

★ つくえの まわりを せいとんして、教
科書・ノート・えんぴつなど、学校で つ
かう ようぐを そろえて おきましょう。
★ あす、学校へ もって いく ものを
そろえて おきましょう。
★ 今日は、早く ねむって、あすは 元氣
に 学校へ 行きましょう。

ごきげん

豊川 とよかわ

御津南部小・2 みとなんぶ

すずき とうま

ガタガタギーギー

ばあばのおうちのあみ戸 どがあかない

ガタガタギーギーごきげん ががわるい

何 なんどやっても言う いこと聞いて きくれない

ごきげんがわるいときのぼくみたい

あかないと入れ はいないからこまったな

あみ戸 どのごきげん直 なおさなきや

ばあばに聞 きかれたよ

「とうくんのごきげんは、どうやって直 なおるの。」

ぼくのごきげんは 大 だいすきなママが

ギユツしてくれると直 なおるから

あみ戸 どのママは ばあばだから

ばあばがギユツしたら直 なおるかな

ばあばがあみ戸 どをギユツってもってあけたら

あみ戸 どがあいた

ばあばがギユツってしたら

やつぱりごきげんが直 なおったよ

あみ戸 どのきげんがいいと

ぼくもううれしい

ぼくもごきげんだ





なまえ

令和7年度版 なつ休み 2年

編集 「夏休み日誌」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人
愛知教育文化振興会
〒444-0868
岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 (0564) 51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。
※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。